資料2

市民意識調査結果（概要）

令和元年10月　魚津市企画政策課

市民意識調査結果

１ 調査目的

令和３年度から新たにスタートする第５次魚津市総合計画の策定に向けて、市の現在の施策に対する評価や今後重点的に取り組むべきことなどについて調査する。

２ 調査対象等

（１）調査対象： 魚津市に居住する 18 歳以上の男女
（２）調 査 数 ： 3,000人
（３）抽出方法： 年代や地区の人口に応じた無作為抽出(層化無作為抽出法)
（４）調査期間： 令和元年9月11日(水)～9月30日(月)
（５）調査方法： 郵送返送方式

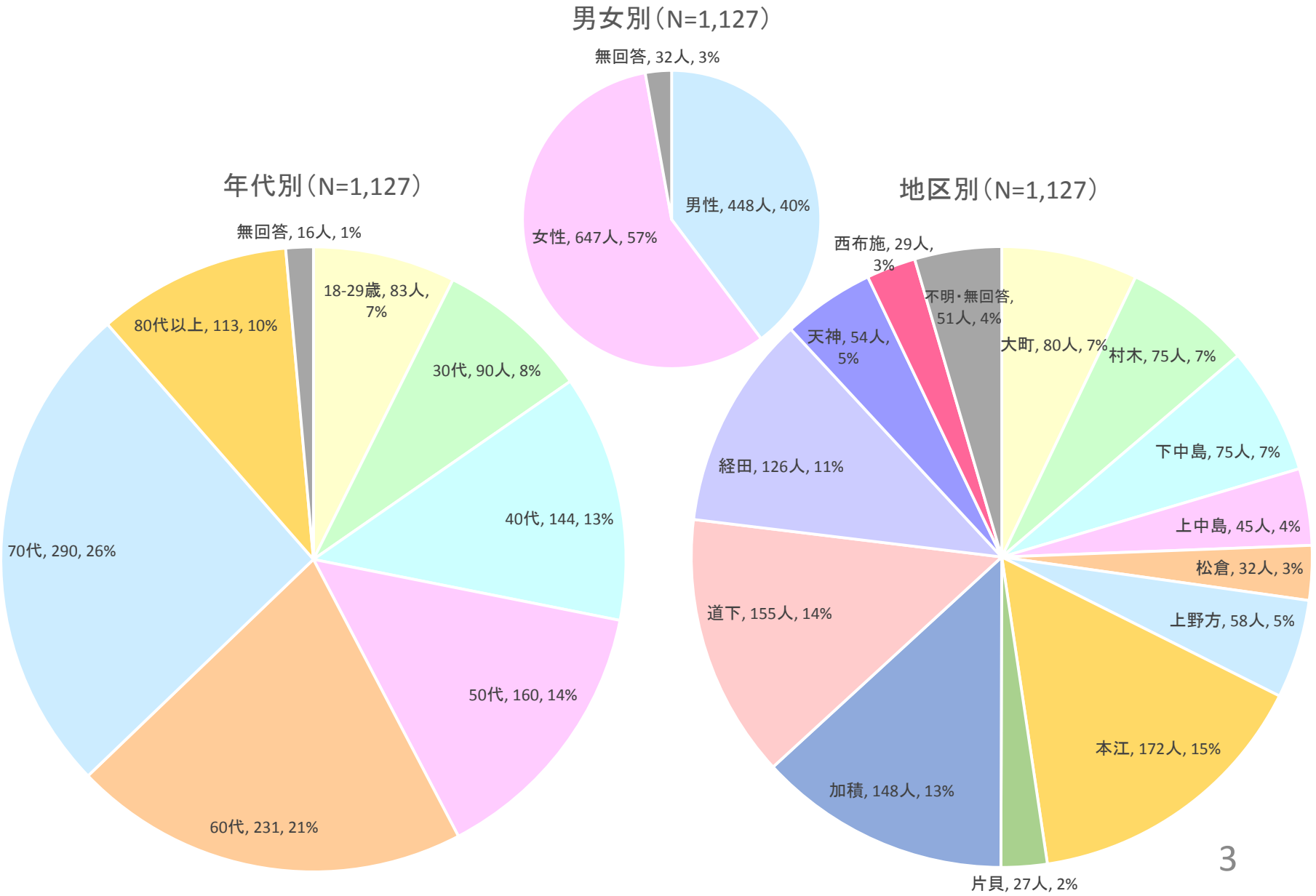
３ 回収結果

（１）配付数　3,000　(平成30年度:1,000)
（２）回答数　1,127　(平成30年度:　567)　　9/30まで返送分

４ 集計方法

9/30までの回答数1127件について、単純集計と年代によるクロス集計を実施

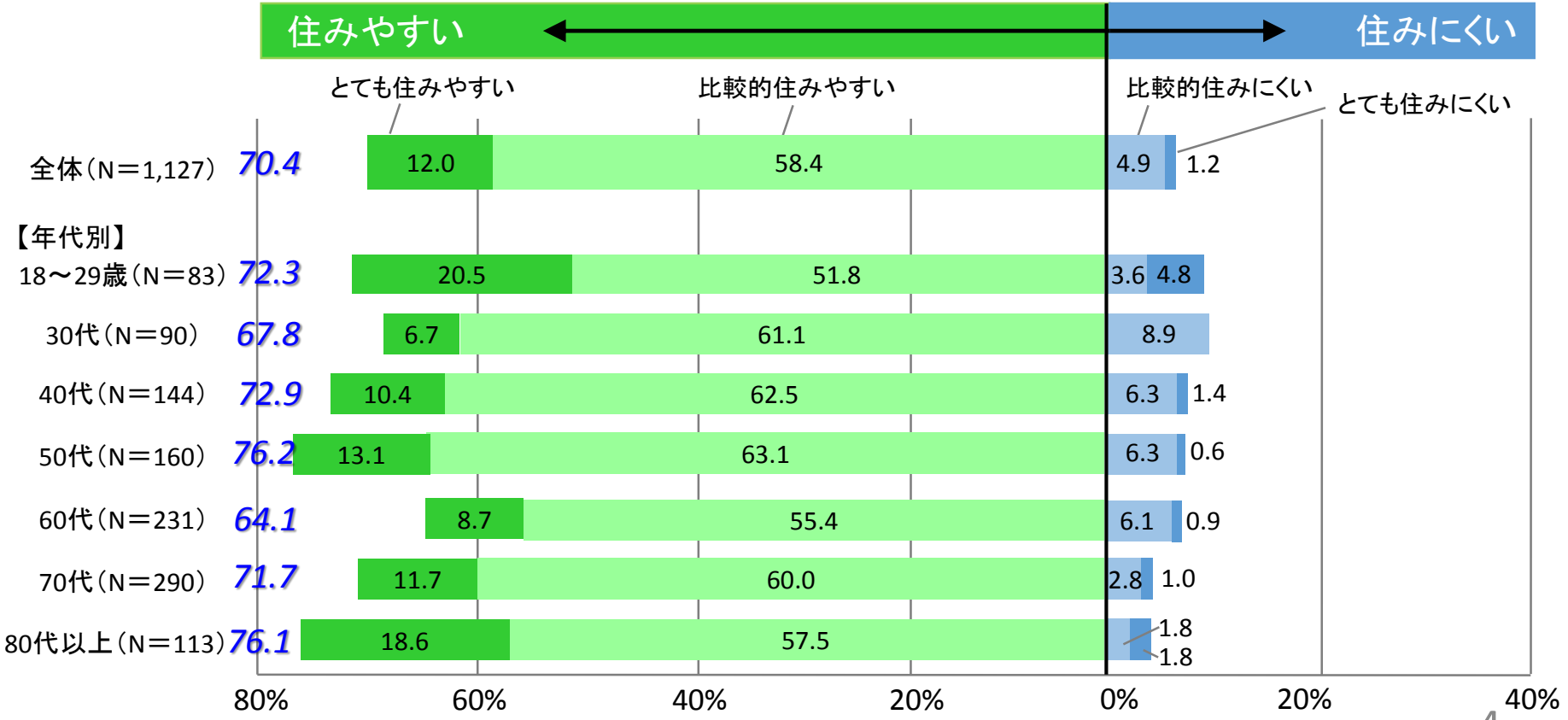
回答者（1127人）の内訳



1　魚津市の住みやすさや良いと思うところ、悪いと思うところについて

問１ 魚津市の住みやすさについて

○「とても住みやすい」、「比較的住みやすい」の合計が全体で7割以上
○「住みにくい」、「比較的住みにくい」の合計は１割未満



※「どちらともいえない」、「無回答」を除いているため、各年齢の合計に差異があります。

問２ 魚津市の良いと思うところ、自慢できるところ（３つまで選択）

順	全体	%
1	自然災害が少ない	59.5
2	水がきれいでおいしい	54.5
3	自然環境が豊か	41.7
4	おいしい食べ物が多い	37.1
5	治安が良い	24.0
6	買い物に便利	20.3
7	住環境が良い	7.3
7	病院や福祉施設が充実	7.3
9	交通の便が良い	5.3
10	教育環境が良い	1.5
11	観光資源がたくさんある	1.4
11	出産･子育てに良い環境	1.4
13	その他	1.0
14	行政サービスが充実	0.9
15	雇用･労働環境が良い	0.5

順	18歳～29歳	%
1	自然災害が少ない	54.2
2	自然環境が豊か	48.2
3	水がきれいでおいしい	43.4

順	30代	%
1	自然災害が少ない	45.6
2	自然環境が豊か	36.7
3	水がきれいでおいしい	35.6

順	40代	%
1	自然災害が少ない 自然環境が豊か	49.3
2	水がきれいでおいしい	45.1
3	おいしい食べ物が多い	43.1

順	50代	%
1	自然災害が少ない	60.6
2	水がきれいでおいしい	48.1
3	自然環境が豊か	37.5

順	60代	%
1	自然災害が少ない	65.4
2	水がきれいでおいしい	55.4
3	自然環境が豊か	44.6

順	70代	%
1	水がきれいでおいしい	69.3
2	自然災害が少ない	65.2
3	自然環境が豊か	41.7

順	80代以上	%
1	自然災害が少ない	66.4
2	水がきれいでおいしい	64.6
3	おいしい食べ物が多い	38.1

○「自然災害が少ない」、「水がきれいでおいしい」、「自然環境が豊か」、「おいしい食べ物が多い」が上位となっており、年代別でも同様の傾向です。
○「水がきれいでおいしい」は70代以上で7割近く、若い層よりも選択率が高くなっています。

問３ 魚津市の悪いと思うところ、改善すべきところ（３つまで選択）

順	全体	%
1	観光資源を活かしきれていない	40.6
2	交通の便が悪い	39.0
3	出産・子育ての環境が良くない	29.5
4	買い物に不便	23.9
5	雇用・労働環境が良くない	20.1
6	病院や福祉施設が少ない	19.0
7	行政サービスがよくない	15.4
7	その他	7.6
9	住環境が悪い	5.5
10	自然環境が悪化している	5.4
11	水の活用が不十分	5.1
11	教育環境が悪い	4.3
13	治安が悪い	2.5
14	おいしい食べ物が少ない	3.5
15	自然災害が多い	0.5

順	18歳～29歳	%
1	交通の便が悪い	49.4
2	観光資源を活かしきれていない	32.5
3	出産・子育ての環境が良くない	27.7

順	30代	%
1	出産・子育ての環境が良くない	47.8
2	交通の便が悪い	32.2
3	観光資源を活かしきれていない	26.7

順	40代	%
1	観光資源を活かしきれていない	45.1
2	交通の便が悪い	30.6
3	雇用・労働環境が良くない	24.3

順	50代	%
1	交通の便が悪い	40.6
2	観光資源を活かしきれていない	35.6
3	出産・子育ての環境が良くない	31.3

順	60代	%
1	観光資源を活かしきれていない	46.8
2	交通の便が悪い	39.8
3	出産・子育ての環境が良くない	32.0

順	70代	%
1	観光資源を活かしきれていない	43.4
2	交通の便が悪い	42.4
3	買い物に不便	31.7

順	80代以上	%
1	観光資源を活かしきれていない	42.5
2	交通の便が悪い	38.9
3	買い物に不便	35.4

○全体の約4割が「観光資源を活かしきれていない」、「交通の便が悪い」を選択しています。
○30代は「出産・子育ての環境が良くない」が最も多く、70代80代で「買い物に不便」が上位になるなど、年代により傾向が見られます。

2　魚津市の将来像について（3つまで選択）

○前回（10年前）と比較し、今回も福祉の充実を望む回答が1位となりました。
○企業誘致の促進や子育て環境の整備を望む回答が増加しました。

全体

順	将来像	%	前回順	比較
1	高齢者や障がい者などすべての人が安心して暮らせる『福祉のまち』	33.5	1	同
2	企業立地を促進し、商工業、サービス業などが活発で働く場に恵まれた『産業のまち』	30.7	5	↑
3	子育て支援が充実し、安心して子どもを産み育てられるまち・・・『子育てが安心なまち』	29.1	7	↑
4	交通事故や犯罪、災害のない『安全・安心なまち』	25.6	3	↓
5	医療体制や健康づくり対策が充実した『健康のまち』	22.4	2	↓
6	誰もが働きやすい『労働環境が整備されたまち』	21.8	6	同
7	観光・スポーツ・文化など様々なイベントが行われ、人々の『交流が活発に行われるまち』	19.0	9	↑
8	道路や公共交通、上下水道などの生活基盤が整った快適で『利便性の高いまち』	18.9	8	同
9	地域活動が盛んで市民と行政が『協働してまちづくりを進めるまち』	14.8	14	↑
10	ごみ減量やリサイクル活動など、『循環型社会の構築に積極的に取り組むまち』	14.0	11	↑
11	自然環境や景観を大切にする『自然と共生するまち』	13.0	12	↑
12	地域の特性を活かした『農林水産業を振興する活力にあふれるまち』	11.5	4	↓
13	子どもたちの健全育成や『生涯学習、スポーツの振興に取り組むまち』	10.9	10	↓
14	『歴史や文化、伝統を大切にするまち』	6.7	15	↑
15	『新たな情報通信技術の活用を積極的に進めるまち』	6.1	16	↑

年代別

順	18歳～29歳	%
1	子育てが安心なまち	44.6
2	安全・安心なまち	31.3
3	利便性の高いまち	27.7
4	健康のまち 交流が活発に行われるまち	25.3
5	産業のまち 労働環境が整備されたまち	21.7

順	30代	%
1	子育てが安心なまち	52.2
2	安全・安心なまち	28.9
3	産業のまち 利便性の高いまち	24.4
4	健康のまち	23.3
5	労働環境が整備されたまち	21.1

順	40代	%
1	産業のまち	36.8
2	子育てが安心なまち	36.1
3	福祉のまち	24.3
4	交流が活発に行われるまち	23.6
5	安全・安心なまち 労働環境が整備されたまち	22.9

順	50代	%
1	福祉のまち	37.5
2	子育てが安心なまち	30.6
3	労働環境が整備されたまち	28.1
4	健康のまち	27.5
5	安全・安心なまち	25.6

順	60代	%
1	福祉のまち	40.7
2	産業のまち	35.5
3	子育てが安心なまち	26.4
4	安全・安心なまち	26.0
5	健康のまち	22.1

順	70代	%
1	福祉のまち	39.3
2	産業のまち	35.9
3	安全・安心なまち	23.8
4	労働環境が整備されたまち	22.4
5	健康のまち	21.4

順	80代	%
1	福祉のまち	38.9
2	安全・安心なまち	29.2
3	産業のまち	26.5
4	健康のまち	23.9
5	協働してまちづくりを進めるまち	23.0

○30代以下は「子育てが安心なまち」が最も多く、50代以上では「福祉のまち」が最も多く、年代により傾向が異なっています。

○「安全・安心なまち」、「産業のまち」、「労働環境が整備されたまち」、「健康のまち」など全体で上位になっている項目は、ほとんどの年代で上位5項目に入っています。

3 市が今後10年間で重点的に取り組むべきこと

各分野上位3項目（全年代）

分野	選択項目		
	1位	2位	3位
市民参画・行財政運営	持続可能な財政運営（52.8%）	移住・定住施策の推進、関係人口の拡大（45.5%）	公共施設の再編（27.3%）
産業振興	企業誘致の推進（38.8%）	雇用、就業支援（28%）	起業支援、後継者対策（23.2%）
都市基盤整備	空家・空地対策の推進（59.3%）	電車、市民バス等の公共交通の充実（40.7%）	道路の整備や拡充（18.6%）
防災・地域の安全	自然災害対策（45.3%）	通学の安全対策推進（24%）	地域防災力の向上（22.6%）
医療・福祉・子育て	社会保障制度（医療・介護）の適切な運営（40.2%）	妊娠・出産に対する支援の充実（29.5%）	高齢者福祉の充実（28.6%）
教育・文化	確かな学力の育成（30.2%）	学校教育環境の整備（29.8%）	英語教育・ＩＣＴ教育などでの先進的な取組み（26.2%）
自然環境	リサイクル等による資源活用の推進（31.5%）	廃棄物の減量化（28%）	森林環境や生態系、水循環の保全（26.1%）

※本調査項目は、選択項目の中から２つまで選ぶ複数回答方式による。

3 市が今後10年間で重点的に取り組むべきこと

①市民参画・行財政運営

順	全体集計	%
1	持続可能な行財政運営	52.8
2	移住・定住施策の推進、関係人口の拡大	45.5
3	公共施設の再編	27.3
4	市民と行政との協働	23.4
5	出会いや婚活の支援	16.1
6	男女共同参画の推進	5.2
7	国際交流の推進	4.3
8	広報・広聴の充実	4.3
9	その他	1.3

順	18歳～29歳	%
1	持続可能な行財政運営	57.8
2	移住・定住施策の推進、関係人口の拡大	34.9
3	公共施設の再編	32.5

順	30代	%
1	持続可能な行財政運営	63.3
2	移住・定住施策の推進、関係人口の拡大	42.2
3	公共施設の再編	34.4

順	40代	%
1	持続可能な行財政運営	56.9
2	移住・定住施策の推進、関係人口の拡大	47.2
3	公共施設の再編	28.5

順	50代	%
1	持続可能な行財政運営	53.8
2	移住・定住施策の推進、関係人口の拡大	52.5
3	公共施設の再編	30.0

順	60代	%
1	持続可能な行財政運営	58.9
2	移住・定住施策の推進、関係人口の拡大	52.8
3	公共施設の再編	24.7

順	70代	%
1	持続可能な行財政運営	49.3
2	移住・定住施策の推進、関係人口の拡大	45.2
3	市民と行政との協働	26.2

順	80代以上	%
1	持続可能な行財政運営	35.4
2	市民と行政との協働	34.5
3	移住・定住施策の推進、関係人口の拡大	33.6

○全ての年代で「持続可能な行財政運営」が最も多くなっています。「移住・定住施策～」も70代以下で全て2番目となっています。
○「公共施設の再編」は60代以下では3番目に多く、70代80代は「市民と行政との協働」が上位になっています。

3 市が今後10年間で重点的に取り組むべきこと

②産業振興

順	全体集計	%
1	企業誘致の推進	38.8
2	雇用・就業支援	28.0
3	起業支援、後継者対策	23.2
4	中小企業の経営体質強化等の支援	19.3
5	農林水産物の6次産業化・ブランド化推進	18.3
6	農林水産業の生産・経営基盤の整備強化や担い手育成	16.8
7	地理的・文化的な特性を活かした産業の育成	16.1
8	観光施策（資源の磨き上げやインバウンドなど）の推進	12.9
9	その他	0.7

順	18歳～29歳	%
1	雇用・就業支援	34.9
2	企業誘致の推進	32.5
3	中小企業の経営体質強化等の支援	30.1

順	30代	%
1	雇用・就業支援	35.6
2	中小企業の経営体質強化等の支援	28.9
3	企業誘致の推進	26.7

順	40代	%
1	雇用・就業支援	34.7
2	企業誘致の推進	33.3
3	起業支援、後継者対策	27.1

順	50代	%
1	企業誘致の推進	33.8
2	雇用・就業支援	31.9
3	起業支援、後継者対策	27.1

順	60代	%
1	企業誘致の推進	44.2
2	雇用・就業支援	25.5
3	起業支援、後継者対策	24.2

順	70代	%
1	企業誘致の推進	45.5
2	雇用・就業支援	23.4
3	起業支援、後継者対策	21.7

順	80代以上	%
1	企業誘致の推進	38.9
2	中小企業の経営体質強化等の支援	22.1
3	起業支援、後継者対策	21.2

○「企業誘致の推進」、「雇用・就業支援」など労働環境に関わる分野の割合が高くなっています。

3 市が今後10年間で重点的に取り組むべきこと

③都市基盤整備

順	全体集計	%
1	空家・空地対策の推進	59.3
2	電車、市民バス等の公共交通の充実	40.7
3	道路の整備や拡充	18.6
4	道路や橋等の維持・補修	16.6
5	公園の整備と活用	12.8
6	水道水の安定供給	11.7
7	住宅取得や耐震改修への支援	11.2
8	新たな情報通信技術の活用	8.0
9	その他	1.0

順	18歳～29歳	%
1	空家・空地対策の推進	48.2
2	電車、市民バス等の公共交通の充実	43.4
3	道路の整備や拡充	21.7

順	30代	%
1	空家・空地対策の推進	45.6
2	公園の整備と活用	37.8
3	電車、市民バス等の公共交通の充実	33.3

順	40代	%
1	空家・空地対策の推進	54.9
2	電車、市民バス等の公共交通の充実	38.2
3	公園の整備と活用	18.8

順	50代	%
1	空家・空地対策の推進	55.0
2	電車、市民バス等の公共交通の充実	41.3
3	道路や橋等の維持・補修	23.1

順	60代	%
1	空家・空地対策の推進	67.1
2	電車、市民バス等の公共交通の充実	41.6
3	道路の整備や拡充	21.6

順	70代	%
1	空家・空地対策の推進	67.6
2	電車、市民バス等の公共交通の充実	44.5
3	道路の整備や拡充	18.6

順	80代以上	%
1	空家・空地対策の推進	56.6
2	電車、市民バス等の公共交通の充実	37.2
3	道路や橋等の維持・補修	20.4

○全体では「空家・空地対策の推進」が約6割、「電車、市民バス等の公共交通の充実」が約4割と回答割合が高くなっています。
○「公園の整備と活用」が30代で2番目、40代で3番目に高く、子育て世代の公園へのニーズの高さがうかがえます。

3 市が今後10年間で重点的に取り組むべきこと

④防災・地域の安全

順	全体集計	%
1	自然災害対策	45.3
2	通学の安全対策の推進	24.0
3	地域防災力の向上	22.6
4	防犯対策の推進	19.7
5	消防･救急体制の充実	19.3
6	交通安全対策の推進	16.8
7	公共施設の耐震化	15.2
8	消費者保護対策の推進	14.6
9	その他	1.0

順	18歳～29歳	%
1	自然災害対策	52.1
2	公共施設の耐震化	23.9
3	通学の安全対策の推進 防犯対策の推進	22.5

順	30代	%
1	自然災害対策 通学の安全対策の推進	40.0
2	消防･救急体制の充実	23.3
3	公共施設の耐震化	21.1

順	40代	%
1	自然災害対策	43.8
2	通学の安全対策の推進	38.2
3	防犯対策の推進	20.8

順	50代	%
1	自然災害対策	50.0
2	防犯対策の推進	23.8
3	通学の安全対策の推進	20.6

順	60代	%
1	自然災害対策	45.0
2	地域防災力の向上	26.8
3	通学の安全対策の推進 防犯対策の推進	23.4

順	70代	%
1	自然災害対策	44.1
2	地域防災力の向上	27.9
3	消防･救急体制の充実	19.3

順	80代以上	%
1	自然災害対策	44.2
2	地域防災力の向上	23.0
3	交通安全対策の推進	20.4

○全ての年代で「自然災害対策」が最も高くなっています。次いで高い「通学路の安全対策の推進」は、子育て世代の30代40代で「自然災害対策」と拮抗しています。
○60代以上では、「地域防災力の向上」が上位に入っています。

3 市が今後10年間で重点的に取り組むべきこと

⑤医療・福祉・子育て

順	全体集計	%
1	社会保障制度（医療・介護）の適切な運営	40.2
2	妊娠・出産への支援の充実	29.5
3	高齢者福祉の充実	28.6
4	子育て支援の充実	27.2
5	地域医療体制の充実	21.4
6	地域福祉の充実	13.5
7	健康づくり施策の充実	13.0
8	障がい者福祉の充実	9.0
9	その他	0.6

順	18歳～29歳	%
1	妊娠・出産への支援の充実	49.4
2	子育て支援の充実	48.2
3	社会保障制度（医療・介護）の適切な運営	31.3

順	30代	%
1	子育て支援の充実	56.7
2	妊娠・出産への支援の充実	41.1
3	社会保障制度（医療・介護）の適切な運営	33.3

順	40代	%
1	社会保障制度（医療・介護）の適切な運営	37.5
2	子育て支援の充実	36.1
3	妊娠・出産への支援の充実	29.2

順	50代	%
1	社会保障制度（医療・介護）の適切な運営	40.6
2	妊娠・出産への支援の充実	31.9
3	地域医療体制の充実	30.0

順	60代	%
1	社会保障制度（医療・介護）の適切な運営	45.9
2	高齢者福祉の充実	30.7
3	妊娠・出産への支援の充実	28.6

順	70代	%
1	社会保障制度（医療・介護）の適切な運営	43.1
2	高齢者福祉の充実	34.8
3	妊娠・出産への支援の充実	24.1

順	80代以上	%
1	社会保障制度（医療・介護）の適切な運営	37.2
2	高齢者福祉の充実	35.4
3	妊娠・出産への支援の充実 地域医療体制の充実	20.4

○全体では「社会保障制度の適切な運営」が最も高くなっています。40代以下では「子育て支援の充実」と「妊娠・出産への支援の充実」の割合が高くなっています。
○「妊娠・出産への支援の充実」は全ての世代で上位となっています。

3 市が今後10年間で重点的に取り組むべきこと

⑥教育・文化

順	全体集計	%
1	確かな学力の育成	30.2
2	学校教育環境の整備	29.8
3	英語教育・ICT教育などでの先進的な取組み	26.2
4	生涯学習環境の充実	24.8
5	図書館・博物館の機能充実	17.7
6	伝統芸能・文化財の継承や利活用	16.7
7	生涯スポーツの充実と競技力の向上	15.8
8	ふるさと教育の推進	10.6
9	その他	1.5

順	18歳～29歳	%
1	確かな学力の育成 学校教育環境の整備	34.9
2	英語教育・ICT教育などでの先進的な取組み	26.5
3	図書館・博物館の機能充実	22.9

順	30代	%
1	英語教育・ICT教育などでの先進的な取組み	41.1
2	学校教育環境の整備	37.8
3	確かな学力の育成	34.4

順	40代	%
1	確かな学力の育成	38.2
2	学校教育環境の整備	36.8
3	英語教育・ICT教育などでの先進的な取組み	31.3

順	50代	%
1	学校教育環境の整備	36.3
2	生涯学習環境の充実	27.5
3	確かな学力の育成	25.6

順	60代	%
1	生涯学習環境の充実	29.0
2	学校教育環境の整備	26.4
3	英語教育・ICT教育などでの先進的な取組み	24.7

順	70代	%
1	生涯学習環境の充実	32.8
2	確かな学力の育成	30.0
3	英語教育・ICT教育などでの先進的な取組み	24.1

順	80代以上	%
1	確かな学力の育成	
2	学校教育環境の整備	
3	英語教育・ICT教育などでの先進的な取組み	

○「確かな学力の育成」、「学校教育環境の整備」、「英語教育・ICT教育～」と子供たちの教育に関する項目が上位となっています。
○50代～70代では、「生涯学習環境の充実」が上位になっており、全体でも4番目となっています。

3 市が今後10年間で重点的に取り組むべきこと

⑦自然環境

順	全体集計	%
1	リサイクル等による資源活用の推進	31.5
2	廃棄物の減量化	28.0
3	森林環境や生態系、水環境の保全	26.1
4	地球温暖化対策の推進	25.3
5	海洋ごみ対策の推進	22.3
6	環境美化・保全活動の推進	19.3
7	鳥獣被害対策	18.2
8	公害防止対策や水質保全の推進	8.6
9	その他	0.4

順	18歳～29歳	%
1	廃棄物の減量化	33.7
2	リサイクル等による～地球温暖化対策の推進	26.5
3	森林環境や生態系、水環境の保全	25.3

順	30代	%
1	環境美化・保全活動の推進	33.3
2	廃棄物の減量化	32.2
3	リサイクル等による資源活用の推進	25.6

順	40代	%
1	リサイクル等による資源活用の推進	37.5
2	海洋ごみ対策の推進	29.9
3	森林環境や生態系、水環境の保全	28.5

順	50代	%
1	森林環境や生態系、水環境の保全	36.9
2	リサイクル等による資源活用の推進	34.4
3	廃棄物の減量化	21.3

順	60代	%
1	リサイクル等による資源活用の推進	29.0
2	廃棄物の減量化	26.4
3	森林環境や生態系、水環境の保全	25.1

順	70代	%
1	リサイクル等による資源活用の推進	33.4
2	地球温暖化対策の推進	33.1
3	廃棄物の減量化	31.7

順	80代以上	%
1	廃棄物の減量化	33.6
2	地球温暖化対策の推進	32.7
3	リサイクル等による資源活用の推進	29.2

○大きな偏りは見られませんが、「リサイクル等による資源活用」、「廃棄物の減量化」、「森林環境や生態系、水環境の保全」、「地球温暖化対策」がどの年代も上位になっており、全体でも上位になっています。

市の施策に対する満足度

前回調査との比較（上位、下位５項目）

	今回調査（Ｒ１）			前回調査（Ｈ２６）	
	順位	施策名	前回順位	順位	施策名
高	１位	下水道の整備	↖ 前回３位	１位	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
	２位	水道水の安定供給	同	２位	水道水の安定供給
↑	３位	水と緑の保全と活用	↖ 前回６位	３位	下水道の整備
	４位	健康づくりの推進	同	４位	健康づくりの推進
満	５位	消防・防災体制の充実	同	５位	消防・救助・救急体制の整備
足			≀		
度	32位	林業の振興	同	34位	林業の振興
	33位	雇用・労働環境の充実	↖ 前回37位	35位	災害に強いまちの形成
↓	34位	計画的で効率的な行財政経営の推進	↙ 前回33位	36位	観光の振興
	35位	観光の振興	↙ 前回36位	37位	雇用・労働環境の充実
低	36位	工業・商業の振興	同	38位	工業・商業の振興

市の施策に対する満足度

全36施策の満足度　（指数…満足＝2　ほぼ満足＝1　どちらとも＝0　やや不満＝-1　不満＝-2 を回答数に乗じて合計）

順位	施策名	満足	ほぼ満足	どちらとも	やや不満	不満	指数
1	下水道の整備	99	530	348	70	27	604
2	水道水の安定供給	114	507	346	84	28	595
3	水と緑の保全と活用	49	378	547	84	11	370
4	健康づくりの推進	39	378	558	93	11	341
5	消防・防災体制の充実	37	360	581	83	13	325
6	市政に関する情報の共有	36	400	516	107	21	323
7	日常生活の安全確保	33	370	558	105	11	309
8	学校教育の充実	44	323	594	87	19	286
9	快適な生活環境の保全と向上	38	292	642	80	15	258
10	文化の振興	30	286	643	87	19	221
11	地域で支えあう福祉社会の推進	31	283	630	102	21	201
12	豊かな長寿社会の実現	27	257	676	89	20	182
13	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	24	255	673	95	13	182
14	子どもたちの健やかな成長支援	21	277	643	94	23	179
15	子育て環境づくりの推進	28	295	603	105	34	178
16	市民参画・協働の推進	17	234	721	87	16	149
17	生涯学習の推進	23	226	670	125	17	113
18	人権が尊重される社会の推進	23	186	751	83	22	105
19	災害に強いまちの形成	17	247	635	150	22	87
20	地域医療体制の充実	23	261	586	165	32	78
21	快適な道路機能の強化	31	304	485	207	48	63
22	子育て家庭への応援体制の充実	19	228	639	133	39	55
23	総合交通体系の整備	38	315	448	203	74	40
24	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築	13	202	690	140	24	40
25	障がい者の社会参加と自立の促進	19	150	766	108	21	38
26	社会保障制度の適切な運営	28	200	648	154	40	22
27	良好な都市の形成	22	237	588	192	35	19
28	水産業の振興	17	200	615	189	41	-37
29	住宅対策の推進	18	177	637	198	45	-75
30	多様な交流の推進	13	146	674	190	36	-90
31	農業の振興	15	161	636	213	45	-112
32	林業の振興	11	96	708	194	51	-178
33	雇用・労働環境の充実	12	132	630	243	56	-199
34	計画的で効率的な行財政経営の推進	11	148	576	257	79	-245
35	観光の振興	18	137	555	288	70	-255
36	工業・商業の振興	10	84	632	268	73	-310